



83-3356
午前10時～午後4時
(日曜祝祭日定休)

ドライフラワーの作り方②

先月号では、冬の間も花を楽しむ方法としてドライフラワーの作り方を3種類紹介しました。①ハンギング法、②ドライインウォーター法、③シリカゲル法でしたが、その他にも、グリセリンに浸す方法、シリカゲルに埋めた花を電子レンジで加熱する方法、シリカゲル以外の乾燥剤を使用する方法など、さまざまな方法があります。それぞれの花にあった方法や、目指すでき上がりの風合いに合った方法がありますので、いろいろ試してみてください。でき上がったドライフラワーは、そのまま飾ったり、リースやハーバリウムなどにして楽しむことができます。

育苗センターでいろいろなドライフラワーを作ってみたところ、マーガレットやひまわりなどの一重

咲きの花は花びらがバラバラになり落ちやすかったですが、タンポポの綿毛、桜の花、野いちご、スキの穂など、変わった素材でも比較的容易に出来る事が分かりました。また、ドライフラワーは周りの湿気を吸収しやすく、変色や型崩れの原因になります。でき上がったドライフラワー花材は、密閉できる袋や容器に乾燥剤とともに入れて暗所に置くことで長期間保存ができます。

冬季間の育苗センター『花の駅』では、ドライフラワーを使ったリースやハーバリウムなどの手作り体験を実施中です。詳しくは、育苗センターまでお気軽にお問い合わせください。

プリザーブドフラワーって何？

冬期間の花の楽しみ方として、プリザーブドフラワーもあります。ドライフラワーの一種で、形や手触りが生花に非常に近い状態に特殊加工された花のことです。生花を脱水脱色した後、水分の代わりに保存液や染料を吸収させます。ドライフラワー作りと比べて難易度は上がりますが、生花のような質感を長期間楽しむことができます。最近では、結婚式のブーケや母の日のフラワーアレンジメントなどに使用されることが多いので、きっと皆さんも何処かで一度は目にしていると思います。1991年にフランスのヴェルモント社が世界特許を取得した比較的新

しい技術ですが、同じようなドライフラワー作りの方法として、グリセリン溶液に浸す手法はもっと古くから行われていました。プリザーブドフラワーもドライフラワーも、一生懸命育てた花を長く楽しむための方法です。ドライフラワーは、エジプトのピラミッドからも発見されていて、すぐに枯れてしまうきれいな花を長く楽しみたいという欲求は、古代より延々と続いているのです。

2月の営業日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

※網かけされている日はお休みです
※休店日など変更する場合がございます

各種体験会やお得なセール情報はこちらから！

